

群馬県民の健康・栄養の現状

平成28年度県民健康・栄養調査結果より

調査の概要

- ▶ **目的**：この調査は、県民の食物摂取状況や生活習慣状況の実態を明らかにし、栄養改善をはじめとする県民の健康づくり対策について検討するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。
- ▶ **時期**：平成28年10月～11月
- ▶ **対象**：県内14地区※1の669世帯、世帯員1,718人※2
 - ※1 平成22年国勢調査の一般調査区から層化無作為抽出
 - ※2 平成28年11月1日現在、満1歳以上の者
- ▶ **協力数**：県内14地区、456世帯（協力率68%）、世帯員1,152人（協力率67%）
- ▶ **調査項目**

調査項目	調査内容	調査対象
(1) 身体の状態	身長、体重	満1歳以上
	腹囲、血圧、問診、血液検査	満20歳以上
(2) 身体活動の状態	1日の身体活動量〔歩数〕	満20歳以上
	運動習慣に関する問診	
(3) 栄養摂取の状態	1日間の食物摂取状況	満1歳以上
(4) 生活習慣の状態	喫煙、飲酒、歯の健康、休養、社会参加等のアンケート	満20歳以上
	食事、睡眠、喫煙等のアンケート	満10歳～19歳

▶ **機関と組織**：調査地区を管轄する保健所は、当該市町村の協力を得て調査を実施しました。保健所では、保健所長を班長とする県民健康・栄養調査班を編成し、各調査員が調査の実施にあたりました。

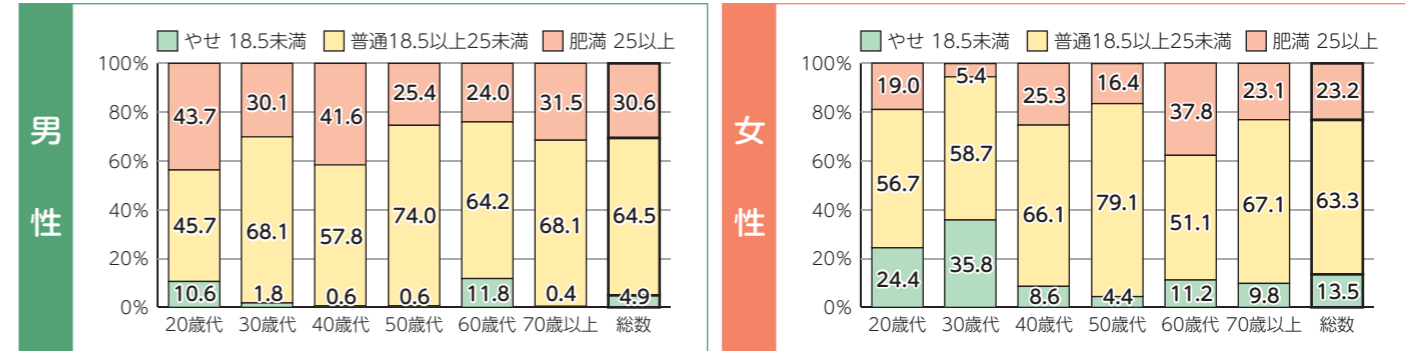


群馬県健康福祉部保健予防課

(1) 身体の状態

BMI判定の状況

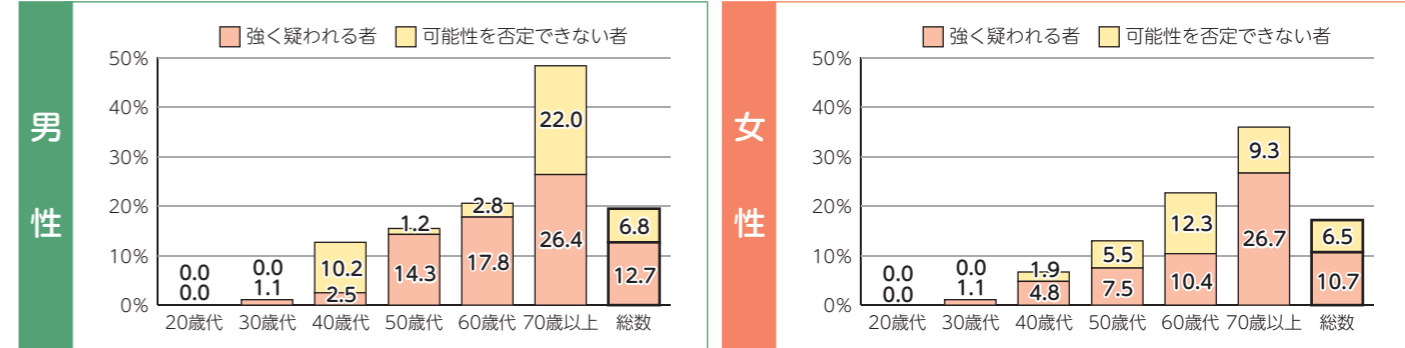
- ・肥満者（BMI ≥ 25 kg/m²）の割合は、全体では男性 30.6%、女性 23.2%でした。肥満者の割合の多い年代は、男性20歳代(43.7%)、女性60歳代(37.8%)でした。
- ・やせの者（BMI < 18.5 kg/m²）の割合は全体では、男性 4.9%、女性 13.5%でした。やせの者の割合の多い年代は、女性30歳代（35.8%）でした。



糖尿病に関する状況

－ 糖尿病が強く疑われる者および糖尿病の可能性を否定できない者の割合 －

- ・「糖尿病が強く疑われる者」の割合は全体では、男性 12.7%、女性 10.7%でした。多くみられた年代は、男女とも70歳以上(男性26.4%、女性26.7%)でした。
- ・「糖尿病の可能性を否定できない者」の割合は全体では、男性6.8%、女性6.5%でした。割合の高い年代は、男性70歳以上（22.0%）、女性60歳代（12.3%）でした。

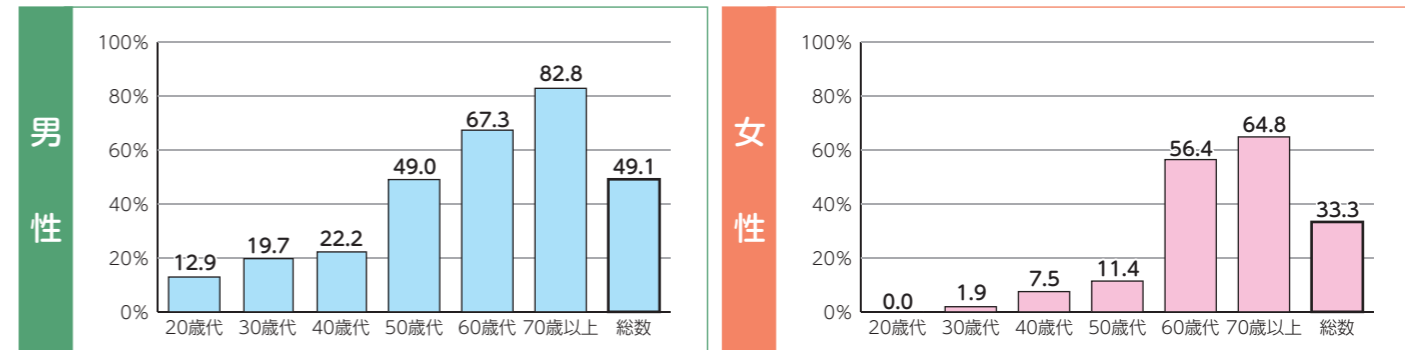


「糖尿病が強く疑われる人」の判定：ヘモグロビンA1c (NGSP) の値が6.5%以上、または「現在、糖尿病治療の有無」に「1 有」と回答した者
 「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定：ヘモグロビンA1c (NGSP) 値が6.0%以上、6.5%未満で、「糖尿病が強く疑われる人」以外の人

血圧の状況

－ 「高血圧症有病者」の割合 －

- ・「高血圧症有病者」の割合は全体では、男性 49.1%、女性 33.3%でした。割合の高い年代は、男女とも70歳以上(男性82.8%、女性64.8%)でした。



「高血圧症有病者」の判定
 収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用している者

・グラフの「総数」は、20歳以上の総数を表します。
 ・グラフに記載されている数値は、四捨五入により算出しているため、内訳合計が総数と一致していない場合があります。
 ・グラフ中の年齢階級別の値は、保健所圏域ごとの標本数の偏りを調整する重み付けをして算出したものです。
 また、20歳以上の総数は、県の年齢構成に合わせるための重み付けをして算出したものです。